

進路だより

第12号
令和2年12月9日
津山市立中道中学校

三者懇談は進路決定のための重要な日となります。

12月22日(火)、23日(水)の三者懇談で、いよいよ進路決定をします。今まで資料やスライドを使って学習したり、担任の先生と懇談をしたりして自分の進路について考えてきました。自分の将来にかかわる大事な進路選択になりますので、家庭でもよく話し合いをして、進路を決定しましょう。

Q. どんなことをいつまでに決定していく必要があるのでしょうか？

1. 三者懇談で必ず決定しておきたいこと

- ① 県外高等学校受検の希望
- ② 私立高等学校の1期入試受験の希望
- ③ 高専の推薦入試受検の希望
- ④ 県立高等学校の特別入試受検の希望
- ⑤ その他学校の受験希望
- ⑥ 就職の希望

保護者の皆様へ
進路学習会でもお伝えしましたが、
提出書類は校内で切厳守で
お願いします。

(1) 県外高等学校を受検しようと考えている人

原則として保護者の方に出願書類を取り寄せていただきます(2~3部)。ただし、中学校に送られているものもありますので、担任または進路担当にお問い合わせください。

県外の場合は、調査書の形式や、提出書類の種類が多いため、担任も準備に時間を取ることが考えられます。また、出願の早い学校(12月下旬から)もありますので、必ずここで決定してください。

(2) 私立高等学校の1期入試(1/28または1/29)を受検しようと考えている人

専原頁か伊原頁かを決めてきてください。

専願(その高校1校だけを受験する:合格したときには必ず入学する)の場合、高校によっては合格判定時に有利になることもあります。そのため、専願で受験し、合格した人は、他校に出願・受験しないことを確認します。ただし、希望コースでは選抜されず第2希望等での合格の場合でも必ず入学することになります。また、高校によっては特別奨学生制度を設けているところもあります。希望する人は担任の先生に確認してください。

(3) 高専の推薦入試(1/19)を受検しようと考えている人は推薦基準があります。

第3学年の2学期の成績が5段階評定で

- (A) 総計36以上の者
- (B) 総計34以上で、理科と数学の合計が9以上の者
- (C) 総計32以上で、アドミッションポリシーに沿った活動実績を有する者
(※面接調査票に文章で記入することになる。)

※注意1:12月14日(月)放課後、高専推薦資格連絡の会にて、推薦受検資格有無を生徒本人へ通知する予定です。希望の意思がしっかりしている人が受検するようにしましょう。内定した場合、必ず入学しなければなりません。

※注意2:受検資格を得た場合は、証明写真の準備及び受検料を支払いに行ってください、三者懇談時に、出願書類一式と併せて提出となります。

私立高校1期入試願書 と 高専推薦入試の出願書類一式 は三者懇談終了後
すぐに3-4教室(1棟2階)で提出していただきます。

受験料(美作・作陽は13,000円)を必ずご持参ください。

※(注意)受検料が免除される場合や、郵便為替にする必要がある場合もあります。
インターネット出願により、すでに納付済みの方は控への提出は不要です。

(4) 県立特別入試(2/9・10)を受検しようと考えている人

しっかりとした志望の動機・理由を持つておくこと。

「受検の機会が2回あるほうが有利だから」というような気持ちだけでは厳しいのが現実です。面接の質問内容もより具体的なことを問われる傾向にあります。また、内定した場合、必ず入学することになりますので、よく考えて受検してください。

(5) その他学校の受験をしようと考えている人

原則として保護者の方に出願書類を取り寄せていただきます(できれば3部)。

専門学校などは出願が、すでに始まっていたり、12月からというところもあります。必ずここで決定し、取り寄せた出願書類を中学校へ提出してください。

(6) 就職を希望する人

原則として就職はハローワーク(公共職業安定所)を通すことになっています。

中学生の就職は、本人・保護者・担任・ハローワークの担当官による懇談が行われ、それによって就職斡旋や職場開拓が行われます。しかし、中卒者での就職は非常に困難になっているのが現状のため、縁故就職の相談もさせていただくようになります。

2. 三者懇談で概ね決定しておきたいこと

- ① 県立高等学校の一般入試の希望
- ② 高専の学力入試の希望
- ③ 私立高等学校2期入試の希望
- ④ 高等技術専門校の希望

この懇談で決定しない場合のみ、
2月18日(木)午後から
進路懇談(希望者対象)を予定しています。
(後日案内配付)

(1) 県立高等学校の一般入試(3/9・10)について

志望校・志望系(第2志望まで書けるところもあり)を決めておく。

志望学科は第2志望まで書ける場合もありますが、第2志望で合格ということもあり得るのでよく考えて出願してください。(希望がない場合は第2志望を書かない方がいいです。)

(2) 高専の学力入試(2/21)について

高専と県立高等学校の併願はできますが、両方に合格した場合、県立高等学校一般入試の合格発表日までどちらに進学するか、決定しないといけません。

(3) 私立高等学校の2期入試について

専原頁か併原頁かを決めてきてください。

後になるほど合格しにくい傾向があります。また、2期では特別奨学生制度は適用されません。私立高等学校を希望する人は1期で受験したほうがいいでしょう。

(4) 高等技術専門校の入試について

中卒では短期(1年)のコースしかありません。北部専門校には「木工・デザイン科」があります。出願と入試日が離れているので注意してください。また、県立高等学校との併願を考えている人は必ず出願しておいてください。

3. その他、進路に関わって懇談で話す内容

① 氏名の漢字、住所等の確認

願書には、氏名を楷書で丁寧に記載することになっています。それをもとに学校で作成する書類も記入します(高等学校側の名簿にも使われます)。

② 特別出願・保護者の住所等に関する調査について

公立高等学校の学区のある普通科を受検するときに必要な書類になります(全員ではありません)。該当する人は担任が詳しく連絡します。

4. お知らせ ※冬休み中に写真撮影をしておくとい良いでしょう。

県立高等学校、高専(学力)ともに、願書に証明写真が必要となります。受検を希望する人はこの冬休みに用意をしておきましょう(出願前3カ月以内に撮影したもの)。

提出予定日 県立特別入試: 1月12日(火)まで

津山高専学力入試: 1月20日(水)まで

★提出期限など、詳細は3学期になってからお知らせを配付します。

★写真撮影の詳細を載せておきますので、ご確認ください。

※縦4cm、横3cm。(右図参照)

※きちんとした服装(制服)で撮影すること。

※正面上半身、無帽、無背景。白黒、カラーを問わない。

※自宅でプリントアウトしたものでも構わない。

★県立高等学校・高専学力入試共に

2枚を封筒などに入れて提出してください。

(写真裏面に中学校名と氏名を必ず記入してください。)

志願者写真

- 1 縦4cm、横3cm
- 2 正面上半身、無帽
- 3 令和元年12月1日以降に撮影のもの
- 4 白黒、カラーを問わない
- 5 裏面に在学(又は出身)中学校名及び氏名を記入して貼付する。

注意① 高専の推薦入試の場合

- ・・・出願が年度内となりますので、12月14(月)に受検資格を確認した後、撮影していただき三者懇談時に提出となります。

注意② その他の私立入試の場合

- ・・・写真が必要になる私立高校もありますので、各家庭で写真の準備をお願いします。
- (美作・作陽・・・写真は不要)

